

報道関係各位

2026年1月27日  
株式会社アサヒパック～ もっと！ごはん好きを増やそう！！意見交換会 ～  
象印マホービン（株）協力のもと、「お米マイスター」を主な対象に開催！

お米の袋の専門メーカー [株式会社アサヒパック](#)（大阪市住吉区 代表取締役：山澄 正一郎）は、2026年2月9日（月）に象印マホービン株式会社（大阪市北区 代表取締役 社長執行役員：市川 典男）協力のもと、お米マイスターを主とする米穀販売店を対象とした「もっと！ごはん好きを増やそう！！意見交換会」を開催します。本イベントは、長期的に続く米消費量の減少や、近年のお米を取り巻く環境変化を背景に、日々現場に立つ米穀店の皆さまと関連企業同士が率直な意見や取り組みを共有し、今後につながるヒントを持ち帰ることを目的とした、少人数制・双方向型の意見交換会です。

#### ●イベント開催の背景

日本人一人当たりの米消費量は長期的に見て減少が続いています。加えて近年は価格や供給をめぐる混乱があり、消費者とお米との距離感も大きく変化しつつあります。こうした状況の中で、消費者と日常的に向き合っている米穀店、特にお米の専門家である「お米マイスター」の声を起点に、今後の可能性を考える場が必要だと考え、本イベントを企画しました。

#### ●イベント内容

当日は「セッション1：企業から」として、主催である（株）アサヒパックの「ごはん食推進活動について」と米袋の豆知識などをご説明。続けて象印マホービン（株）から炊飯ジャーの基礎知識などを紹介し、最上位モデルを用いた「ごはんの炊き比べ体験」を提供します。

後半ではメインプログラムとなる「セッション2：意見交換会」を実施。「お米ライター」としてご活躍されている[柏木智帆さま](#)にファシリテーターとしてご参加いただき、事前に募ったアンケートの内容をベースに参加者・参加企業の全員で「ごはん好きを増やす取り組み」や日々感じている課題などについて、座談会形式の意見交換を行います。

#### ●開催概要

- ・日時：2026年2月9日（月）11:00～13:00（10:30 受付開始）
- ・会場：象印マホービン（株）東京支社 8階キッチン
- ・対象：お米マイスターを主とする米穀販売店様（ご参加は無料です）
- ・定員：最大15名程度（定員になり次第締め切りとなります）
- ・申込：専用フォームより受付／右記のQRコードからもアクセス可能
- ・主催／協力

主催：  Asahipac協力：  ZOJIRUSHI※本イベントについてのお問い合わせは（株）アサヒパック 広報室（03-5616-6664／[press@asahipac.co.jp](mailto:press@asahipac.co.jp)）まで

報道関係各位

2026年2月20日

株式会社アサヒパック

## お米マイスターと関連企業が現場の変化を共有 「もっと！ごはん好きを増やそう！！意見交換会」を開催しました！



お米の袋の専門メーカー [株式会社アサヒパック](#)（大阪市住吉区 代表取締役：山澄 正一郎）は、2026年2月9日（月）に[象印マホービン株式会社](#)（大阪市北区 代表取締役 社長執行役員：市川 典男）協力のもと、お米マイスターを主とする米穀販売店の皆さま十数名をお招きし「もっと！ごはん好きを増やそう！！意見交換会」を開催しました。本イベントは、長期的な米消費量の減少や近年のお米を取り巻く環境変化を背景に、日々現場に立つ事業者と関連企業同士が率直な意見を共有し、今後のヒントを探ることを目的として実施したものです。

### ● イベント開催の背景

日本人一人当たりの米消費量は長期的に見て減少が続いています。一方で、価格や供給をめぐる変化などを受け、消費者の反応や購買行動は現場レベルでは一様ではありません。こうした中で、「実際の現場では何が起きているのか」「お米に向き合う皆さんは何を感じ、何を試しているのか」を共有する場として本意見交換会を企画しました。

### ● イベント内容について

当日はまず主催者である株式会社アサヒパックより、現在取り組んでいる「ごはん食推進活動」の考え方や、今回の意見交換会の主旨について説明を行いました。続いて象印マホービン株式会社より炊飯の基礎的な考え方、炊飯ジャーの特性による炊きあがりの違いについて紹介。同社炊飯ジャーに搭載されている炊き分け機能「わが家炊き」を用いたごはんの炊き比べも実施し、参加者全員でごはんの試食を行いました。



後半の意見交換会ではファシリテーターとしてお米ライターの柏木智帆さまにご協力をいただき、事前アンケートの回答をベースに当社も含めた参加者同士が日々の商売や現場で感じている変化、うまくいっている工夫や難しさについて率直に、かつ建設的に意見を交わしました。



その中では、「令和の米騒動」が始まって以降お米屋さんの購買層が変わりつつあること、備蓄米の流通に伴いお米の“味”や“価値”が見直され「ギフト需要」が増えているなど現状の共有があり、今まで食べたことのない品種のお米を買ってもらうため「スタンプラリーを実施している」等、売り方の工夫についてもお声が上がりました。加えて未来へ向けて“食育”が重要というご指摘もあり『子どもも大人も本当に美味しいごはんを体験する機会を』というご意見から、学校や行政も巻き込んだ取り組みへ繋げていく可能性についても意見を交わしました。この意見交換会は、特定の結論を導くことを目的とせず「答えを出さない対話の場」といたしました。その結果、立場や業態を越えた多様な視点が共有できたと考えています。

### ● 今後に向けて

弊社では今回の意見交換会で得られた声を今後の活動に活かすとともに、他企業様と連携しつつ継続して「お米を取り巻く現場の声」を関係者に交し合う機会作りを行っていく予定です。なお、本イベントの当日の様子や参加者の声については後日、[アサヒパック公式 note](#)にて詳しくご紹介いたします。



試食時には協賛企業より各種「ごはんのお供」も提供されました

### ● 開催概要

- ・ 日 時 : 2026年2月9日(月) 11:00~13:00
- ・ 会 場 : 象印マホービン(株) 東京支社 8階キッチン
- ・ 対 象 : お米マイスターを主とする米穀販売店様
- ・ 主催/協力

主催:  **Asahipac**

協力:  **ZOJIRUSHI**

- ・ 試食時「ごはんのお供」協賛

[キッコーマンこころダイニング株式会社](#) / [株式会社ピクルスコーポレーション](#)